

2/5 3374

荒井勝喜・首相秘書官が30夜、LGBTQなら性的少數者を同性婚について「見ても嫌だ」と記したオフ会取材で浮上。多様な生き方や個人の尊厳を否定する、差別的偏見を述べた悪質です。報道直後、荒井は発言を撤回し、岸田文雄首相は4日、同氏を更迭しました。

主張

秘書官の差別発言

した。一方で、「同性婚」反対の人は多いのではないかと心配だ」とも強調しました。

対して出されただい」とです。
同田の答弁で質問は、同性婚の
法制化について「家族観や価値
観、社会が変わってしまう」「極
めて慎重に検討すべき課題」と否
定的な考え方をしていました。こ
の答弁には、婚姻の平等を求める
人たちの願いに背を向け、個人の
身の姿

首相は、荒井氏の要説の理解について、「持続可能な多様性社会」を目標とする「持続可能な社会を実現する方針と構成しない」と述べた。このことに対する感想は、筆者自身も「まことに、最も強烈な印象を受けたのは、首相のこの説明である」と述べている。

繩和生田は文部省学園大臣に起用
して貰う。回任がても學校に
て教書。専制的体調と決別であ
るといふは大問題である。

更迭だけで幕引きはできない

アマガタ

改進では、21年に日本内閣の会合で性的少數者について「種の保存

性婚なんか導入したら、國を捨てる人も出でる」などとも発言してしまった。当審者を晒しめ、憤り切つくる、あまりに心ない言葉だす。

いきました。首相のスポーツスペー
ソン的な役割を果たしていた荒井
氏の記者への言葉は、個人の意見
もひとつ嫌がれてしまうほどかもしれません。
JTBと関連性がないのが、荒井
氏の発言が、並田首相の「日本の衆
院予算審議会での同性婚にかかわ
る答弁」として記者からの露観じ
て、同性婚を認める国・地域は約30
ヶ国と増え続け、日本でも同性カップ
ルを認証するパートナーシップ
制度を導入した自治体は広がってい
ます。21年に札幌地裁は、同性婚

姿勢を根本から改めよ
首相は昨年夏の内閣改組で、性
的少数派を「生産性」がないと侮
蔑するなどした自民党的杉田水脈
衆院議員を経済政策担当官任命しま
した。批判が集中したのに「適材
適所」(首相)とかばい続け、12月

いました。首相のスポーツ・スペー
ソン的な役割を果たしていた荒井

尊重に反するものだと批判が相次
じていました。

姿勢を根本から改めよ

反省するなら、同性婚や選択的夫婦別姓の実現などエンターフェス社会への歩みを加速すべきです。